

「2023年度 第1四半期決算概要」

1. 2023年度1Q連結業績概要

2. 2023年度業績見通し

第1四半期 業績概要

- 生産台数回復・利益率改善・為替効果で、**四半期売上高・当期純利益は過去最高**を達成

業績見通し

- 自動車生産台数の持ち直しや為替前提の見直しにより**売上高および各利益ともに上方修正**
- 原材料・電気代・運送費の増加はあるが、固定費を抑制

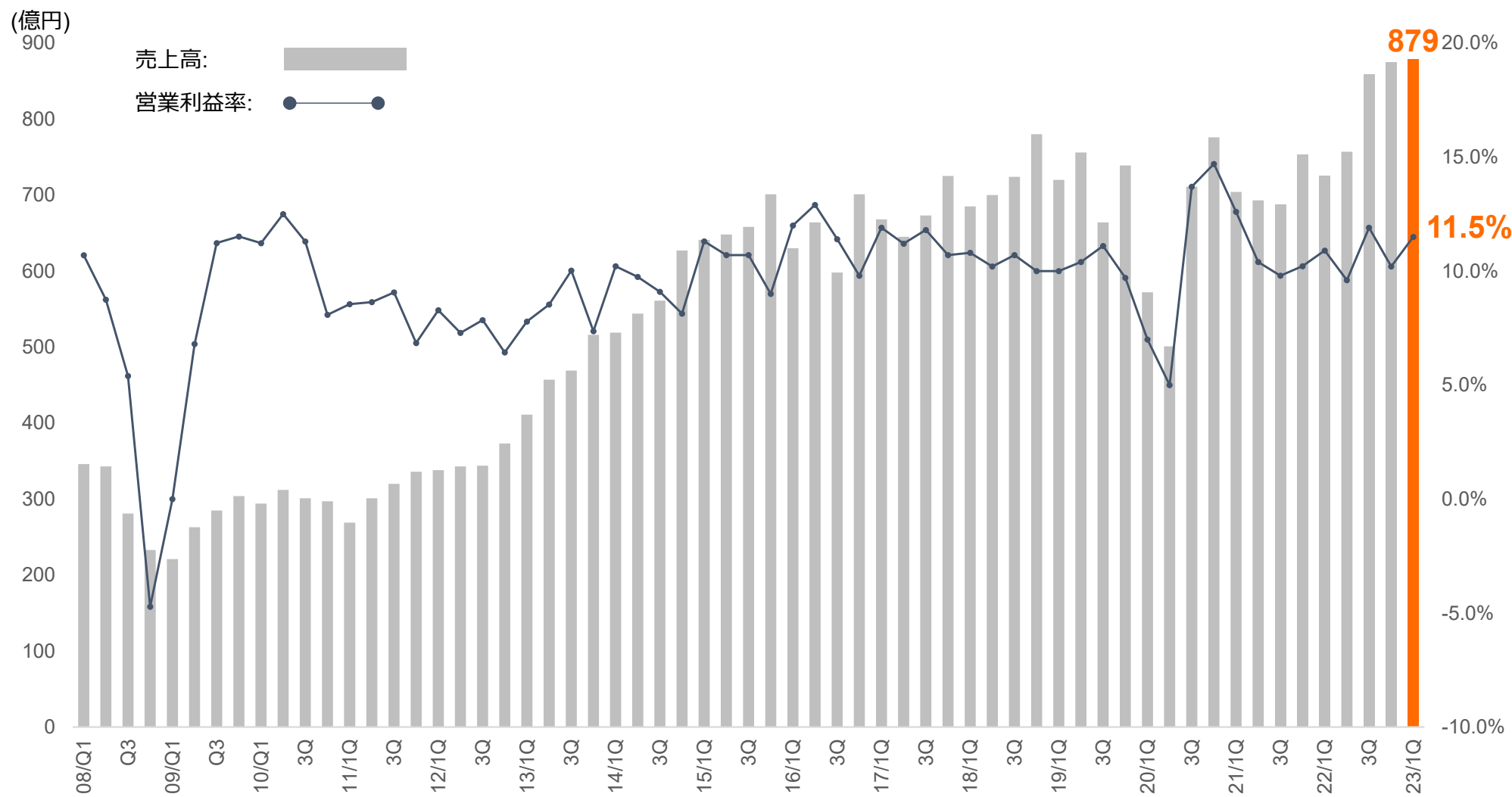
1. 2023年度1Q連結業績概要

2. 2023年度業績見通し

1. 決算ハイライト

売上高・営業利益率 推移

- 前四半期に続き、四半期売上高の過去最高を更新
- 営業利益率は11.5%に改善 (前四半期比+1.3%pts)



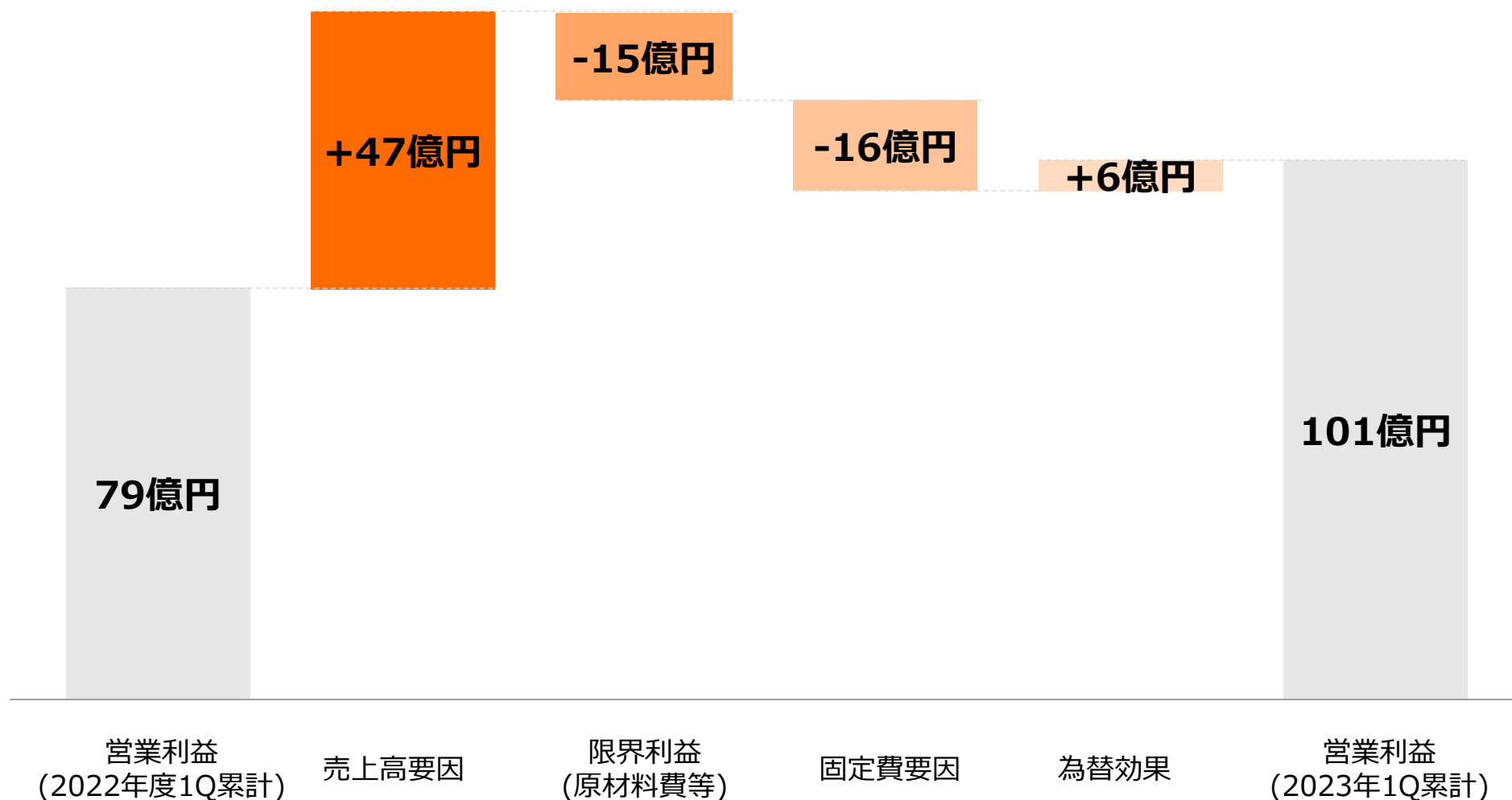
増収・増益、営業利益率改善と想定を上回

- ・生産台数回復に伴う増収効果で各利益および利益率が改善
- ・当期純利益・一株当たり純利益は四半期最高値を達成

	2022年度				2023年度	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	前年同期比
売上高	726億円	757億円	859億円	875億円	879億円	21.1%
営業利益	79億円	73億円	103億円	89億円	101億円	28.0%
営業利益率	10.9%	9.6%	11.9%	10.2%	11.5%	0.6%pts
当期純利益 ¹⁾	80億円	58億円	47億円	26億円	97億円	21.1%
一株当たり 四半期純利益	80.22円	57.90円	46.77円	26.37円	97.50円	21.5%
想定為替	1ドル=116.3円 1ㄥ-□=130.4円	1ドル=123.1円 1ㄥ-□=134.4円	1ドル=128.3円 1ㄥ-□=136.1円	1ドル=131.6円 1ㄥ-□=138.1円	1ドル=132.4円 1ㄥ-□=142.1円	1ドル=+16.1円 1ㄥ-□=+11.7円

営業利益増減分析（前年同期比較）

- 生産台数回復に伴う増収効果が営業利益増加をけん引
- 為替効果無しでも対前年同期比で約20%の増益を達成



中国を除く地域・セグメントで前年同期比10桁超の増収

- 前年同期比では日本・欧米の増収が顕著
- 中国は日系OEMの販売苦戦に伴う生産販売台数減少により減収

	2022年度 (1Q)	2023年度 (1Q)	前年同期比	主な変動要因
連結	726億円	879億円	+21.1%	
合成樹脂	652億円	798億円	+22.4%	
日本	166億円	208億円	+25.2%	生産台数回復
北米	158億円	209億円	+32.3%	日系OEMの生産台数回復
欧州	91億円	117億円	+28.0%	生産台数回復
アジア	237億円	264億円	+11.5%	韓系OEMの生産台数好調
中国	83億円	66億円	-21.1%	日系OEMの生産台数減少
ベトナム	74億円	81億円	+10.0%	前年はコロナの影響あり

中国を除く地域・セグメントで増益を達成

- 日本・欧州の利益増・営業利益率上昇が全体の増益をけん引
- 中国は売上高減少の影響厳しい

	2022年度 (1Q)	2023年度 (1Q)	前年同期比	主な変動要因
連結	79億円 (10.9%)	101億円 (11.5%)	+28.0%	
合成樹脂	79億円 (12.1%)	101億円 (12.6%)	+28.1%	
日本	25億円 (15.1%)	40億円 (19.4%)	+64.0%	増収効果と固定費管理による改善
北米	9億円 (5.5%)	10億円 (4.7%)	+13.2%	
欧州	0.4億円 (0.4%)	6億円 (5.0%)	+1525.3%	生産台数増による稼働率改善
アジア	45億円 (18.8%)	45億円 (17.0%)	-0.6%	韓国・ASEANは引き続き好調
中国	15億円 (18.6%)	8億円 (11.8%)	-49.9%	減収とそれに伴う固定費負担増
ベッド	13億円 (17.8%)	14億円 (16.8%)	+5.3%	

キャッシュフロー重視の経営を継続し、資金配分を適切に管理

- 営業CFは通期計画に対して想定通りの進捗
- 設備投資は期初計画に対する進捗率が13%だが、需要を見て適切に実行予定

	2022年度(1Q)	2023年度(1Q)	増減	2023年度通期計画
設備投資額	18億円	17億円	-1億円	133億円
減価償却費	32億円	34億円	+2億円	138億円
研究開発費	9億円	8億円	-1億円	36億円
営業CF	61億円	102億円	+41億円	360億円
投資CF	-40億円	-22億円	+18億円	-133億円
フリーCF	21億円	80億円	+59億円	227億円
財務CF	-45億円	-162億円	-117億円	-195億円
現預金残高	1,118億円	1,170億円	+52億円	1,242億円

1. 2023年度1Q連結業績概要

2. 2023年度業績見通し

生産台数の回復や円安による影響で通期の業績予想を見直し

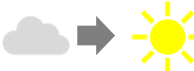


- 国内外の自動車生産台数の回復や円安の影響により売上高を上方修正
- 原材料費・物流費・電気代の増加も固定費抑制により営業利益を上方修正

2023年度通期見通し

	期首計画	修正計画	期首計画比
売上高	3,225億円	3,430億円	+6.4%
営業利益	355億円	380億円	+7%
営業利益率	11.0%	11.1%	+0.1%pts
当期純利益	212億円	235億円	+10.8%
一株当たり 純利益	212.15円	235.59円	+11%pts
配当金額	64円	64円	+/- 0%

8. 2023年度見通し(見立て)¹ 為替前提を見直し

- 為替動向を踏まえて、2023年度の為替の前提を見直し(132円/ドル、145円/ユーロ)
- 海外は中国は厳しいが、それ以外は改善傾向にある

	見通しの 対象期間	前回(5月) 想定	今回 想定	
国内	2023/7 ~2024/3			<ul style="list-style-type: none"> • 生産台数およびモデルミックスも改善
海外	2023/4 ~2023/12			<ul style="list-style-type: none"> • 中国以外は改善傾向
為替		125円/ドル 135円/ユーロ	132円/ドル 145円/ユーロ	<ul style="list-style-type: none"> • + 7円/ドル • +10円/ユーロ

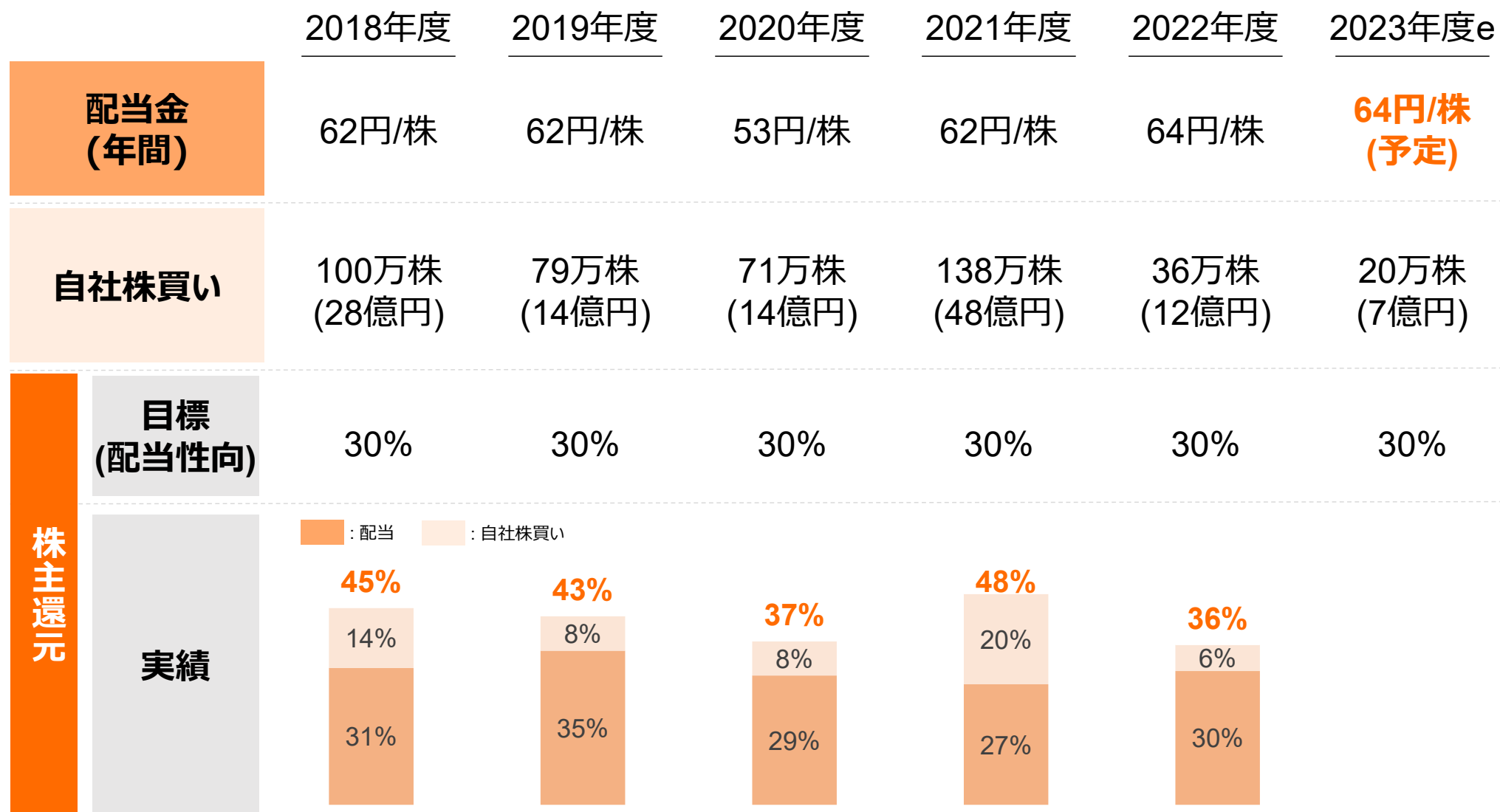
生産台回復、円安の影響を踏まえてガイダンスを修正

- 合成樹脂事業は、各地域とも上方修正
- ただし中国は厳しい予想をする
- ベッド事業は変更しない

	2023年度(1Q ¹)		2023年度(通期計画 ²)		2023年度(修正計画 ²)	
	売上高	営業利益 (営業利益率)	売上高	営業利益	売上高	営業利益
連結	879億円	101億円 (11.5%)	3,225億円	355億円 (11.0%)	3,430億円	380億円 (11.1%)
合成樹脂	798億円	101億円 (12.6%)	2,895億円	349億円 (12.1%)	3,100億円	371億円 (12.0%)
日本	208億円	40億円 (19.4%)	805億円	140億円 (17.4%)	850億円	150億円 (17.6%)
北米	209億円	10億円 (4.7%)	730億円	30億円 (4.1%)	800億円	36億円 (4.5%)
欧州	117億円	6億円 (5.0%)	360億円	12億円 (3.3%)	430億円	22億円 (5.1%)
アジア	264億円	45億円 (17.0%)	1,000億円	167億円 (16.7%)	1,020億円	163億円 (16.0%)
中国	66億円	8億円 (11.8%)	310億円	45億円 (14.5%)	260億円	26億円 (10.0%)
ベッド	81億円	14億円 (16.8%)	330億円	60億円 (18.2%)	330億円	60億円 (18.2%)

配当は前期同額を予定、自社株買いは柔軟に検討

- 配当は64円と前期比を維持する予定(配当性向30%)
- 自社株式買いは今期も引き続き柔軟に検討する





本資料に記載されている情報には将来の見通しに関するものが含まれています。これらには現在入手可能な情報をもとにした判断が含まれており、リスクや不確実性が含まれています。今後の経済状況、事業環境の変化などにより将来の見通しが大きく変わる可能性があるため、将来の見通しに関する情報が正確であること、または記載した情報どおりになる事を当社が保障するものではありません。また、これらの情報は投資家の方々へ当社の状況や今後の考え方を伝えることを目的としており、当社株式の売買を勧誘するものではありません。